

令和7年度 第1回 小金井市環境審議会

日 時：令和6年5月23日（金）午前10時から
場 所：東小金井駅開設記念会館

次 第

1 開会

2 議題

- (1) 環境基本計画（中間見直し）等及び（仮称）気候市民会議スケジュール
- (2) 環境・みどりに関する市民アンケート調査（案）について
- (3) （仮称）小金井市気候市民会議について

3 報告事項

- (1) 令和7年度環境政策課環境係の事業計画について
- (2) その他

4 次回審議会の日程について

<配布資料>

資 料 1	小金井市環境基本計画等中間見直し及び（仮称）気候市民会議運営スケジュール
資 料 2	小金井環境基本計画計画中間評価について
資 料 3	環境・みどりに関するアンケート調査票案
資 料 4	（仮称）気候市民会議運営概要
資 料 5	令和7年度環境政策課環境係の事業計画について

<参考資料>

- (1) 令和6年度大気質調査委託報告書
- (2) 令和6年度ダイオキシン類測定委託報告書
- (3) 令和6年度自動車騒音の常時監視に係る調査報告書
- (4) 令和6年度要請限度に係る自動車交通騒音振動調査報告書
- (5) 令和6年度水質監視測定及び湧水調査報告書
- (6) 令和6年度地下水位測定報告書

小金井市環境基本計画等中間見直し及び（仮称）小金井市気候市民会議運営スケジュール表

業務実施内容		令和7（2025）年度															
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
環境基本計画及びみどりの基本計画における市民意識調査等																	
基礎調査	市民アンケート調査			調査票作成	● 発送		集計・分析					報告書作成	● 納品				
審議会	環境審議会			●		●		●			●	●			●		
第2次地球温暖化対策地域推進計画（中間見直し）（概要版）の作成																	
中間見直し 方針の検討	ア ロードマップの作成							目標値・指標の検討 将来推計		ロードマップ 原案作成							
	イ 施策の検討							分類 新規施策の検討									
	ウ 地域推進計画（中間見直し） （概要版）作成									概要版 原案作成		パブリックコメントや会議を踏まえ修正、印刷				● 完成	
	エ パブリックコメント											パブリック コメント	回答案作成 とりまとめ				
（仮称）気候市民会議運営支援																	
会議等の 運営支援	実施日程（案）					● 6 日		● 2 土		● 6 土							
	ア 企画・運営					各回のプログラム・資料作成 講師等の手配											
	イ アンケート作成及びデータ集計					各回のアンケート作成 収集・集計											
	ウ 会議録・映像記録の作成																
	エ 意見提案のとりまとめ																
	オ 報告書の作成										報告書作成、印刷		● 完成				

小金井市環境基本計画等市民意識調査について

1 概要

(1) 計画との位置づけ

小金井市環境基本計画は、令和3年4月1日から令和13年3月31日までを計画期間とする計画であり、概ね5年間を区切りに、計画の評価と検証を行うとともに、社会情勢や関連する各種制度の変更など計画を取り巻く環境の変化に伴う市民意識調査及び中間見直し等を行うことを目的とする。

(2) 評価項目について

ア 市民アンケート調査

【目的】 現行基本計画や施策の認知度や環境保全行動の実践度についての実態把握

【対象】 無作為抽出、18歳以上の市民3,000人（外国人80名程度含む）

【内容】 別添「市民アンケート調査」のとおり

イ その他

第3次環境基本計画策定に向けて実施した市民アンケート調査（令和元年9月実施）の調査項目をベースとして作成

第3次環境基本計画において5年に1回を目途に把握するとしている「みどりの豊かさ」、「生物多様性の認知度」等の調査のほか、新規設問等を設け、計画の見直しの参考とする。

2 主なスケジュール

	内容	日程
(1)	各審議会でも内容審議	5月22日（木）（緑地保全対策審議会） 5月23日（金）（環境審議会）
(2)	追加意見等提出（各審議会委員）	5月27日（火）
(3)	アンケート内容確定	6月上旬
(4)	アンケート発送	6月中旬（回答期日2週間程度）
(5)	集計・分析	8月下旬

小金井市の環境・みどりに関する 市民アンケート調査ご協力をお願い

市民の皆様には、日頃より本市の環境・みどり行政にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

市では、令和 3 年 3 月に、「小金井市環境基本計画」、「小金井しみどりの基本計画」及び「小金井市地球温暖化対策地域推進計画」を策定しており各種の施策・事業を推進しております。

ご多忙のところ大変恐縮ではございますが、以下のアンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

目 的 市民の皆様が環境・みどりについて日頃感じられていることやご意見などをお聞きし、計画の評価・見直しの参考にさせていただくため、アンケート調査を行います。

対 象 市内在住の 18 歳以上の方で無作為に抽出した 3,000 人の方

取 扱 本調査票に記入された内容はすべて無記名データとして統計処理し、その他の目的での利用や個人の情報を公表することはありません。

令和 7 年 6 月

小金井市長 白井 亨

◎ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、

令和 7 年 7 月 〇 日（〇）までにご投函ください。

◎アンケート調査票・返信用封筒に氏名・住所をご記入いただく必要はありません。

スマートフォン・パソコンから、 インターネットでも回答できます！

小金井市に長く住んでいる方、転入したばかりの方、幅広い世代の方からの、たくさんの市民の皆さんからのご意見をお待ちしております！



小金井市イメージキャラクター
こきんちゃん

1. スマートフォンからは、右記の二次元コードを読み取ってアクセスできます。

二次元コード

2. パソコンからは、ブラウザ URL 欄に下記の URL を入力してアクセスできます。

<https://>

3. 回答の際は、以下の「ID」・「パスワード」を入力してください。

※ 「ID」・「パスワード」から個人が特定されることはありません。

I D :

パスワード:

※ インターネットで回答をしていただきましたら、調査票の返送は必要ありません。

◆ ご自身について

はじめに、あなたご自身についてお聞きします。該当する番号 1 つに○ をつけてください。

性 別	1. 男性 2. 女性 3. その他
年 齢	1. 10 歳代 2. 20 歳代 3. 30 歳代 4. 40 歳代 5. 50 歳代 6. 60 歳代 7. 70 歳以上
住 所	【町名】 1. 東町 2. 梶野町 3. 関野町 4. 緑町 5. 中町 6. 前原町 7. 本町 8. 桜町 9. 貫井北町 10. 貫井南町 【丁目】 1. 1 丁目 2. 2 丁目 3. 3 丁目 4. 4 丁目 5. 5 丁目 6. 6 丁目 ※地域ごとの統計処理のため、丁目までの記入にご協力ください。
小金井市 居住年数	1. 3 年未満 2. 3 年以上 5 年未満 3. 5 年以上 10 年未満 4. 10 年以上 20 年未満 5. 20 年以上 30 年未満 6. 30 年以上
住宅の形態	1. 戸建て 2. 集合住宅 3. 間借り等その他

1 身近な環境の満足度について

お住いの地域の環境に関して、該当する番号 1 つに○ をつけてください。

地 域 の 環 境	満足	やや満足	どちらとも言えない	やや不満	不満
1. 環境の状況や施策に関する市からの情報提供	5	4	3	2	1
2. 水のきれいさ（河川や湧水の水質、におい等）	5	4	3	2	1
3. 水辺との親しみやすさ（河川や湧水を身近に感じるか）	5	4	3	2	1
4. 生き物（野鳥、昆虫、水生生物等）との親しみやすさ	5	4	3	2	1
5. 空気のきれいさ（車の排気ガス、星空の見え方等）	5	4	3	2	1
6. まちの静けさ	5	4	3	2	1
7. 有害化学物質からの安全性（放射性物質等）	5	4	3	2	1
8. まちの美しさ（景観、調和等）	5	4	3	2	1
9. まちの清潔さ・きれいさ（ごみの散乱、におい等）	5	4	3	2	1
10. 地球環境に配慮した取組み（CO ₂ 削減等）	5	4	3	2	1
11. 気候変動による豪雨等の災害からの安全性	5	4	3	2	1

クイズ★市の鳥、市の虫 知っていますか？

市内には、自然の中で生き物と親しめる公園や水辺が多くあります。
 市の木はケヤキ、市の花はサクラで、市章にもサクラの花びらがデザインされています。
 それでは、市の鳥と市の虫はなんでしょう？



市章

桜の花びらと小金井の「小」を图案化しています

【ヒント】 市の鳥：水辺に生息する、色鮮やかな小型の鳥
 市の虫：「鳴く虫の女王」と呼ばれる、コオロギのなかまの虫

→ 答えはアンケート最終ページにあります！

2 日常生活における環境に関する取組状況

1) 普段の生活を振り返って、小金井市の環境に優しい行動がとれていますか。各項目について、該当する番号 1つに○ をつけてください。

行 動 内 容	いつも している	ときどき している	しない ことが多い	したこと がない
1. 庭やベランダなどで、木や草花を育て、除草剤の使用は控える	1	2	3	4
2. 地元の農産物を積極的に購入する	1	2	3	4
3. ポイ捨てをしないなど、マナーを守って生活する	1	2	3	4
4. 生活騒音に気を付けるなど、日頃から隣近所への配慮を心掛ける	1	2	3	4
5. 洗剤は極力石けんを使い、合成洗剤を必要以上に使わないよう努める	1	2	3	4
6. もの大切に使い、捨てる前にリユース、リサイクルを意識する	1	2	3	4
7. 生ごみは水切りを行い、汚れがあるごみは洗浄してから排出する	1	2	3	4
8. ものを捨てる時は、水銀などの有害ごみを混入させないなど、分別を徹底する	1	2	3	4
9. 移動は徒歩、自転車、公共交通機関を優先する	1	2	3	4
10. 打ち水やベランダで緑のカーテンを設置等、涼しくする工夫をする	1	2	3	4
11. 防災マップで避難場所を把握し、非常食などを備蓄する	1	2	3	4
12. 市HPや、市が発行する環境報告書などで環境情報を調べ、“小金井の今”を知る	1	2	3	4
13. リサイクル推進協力店や食品ロス削減推進協力店での購入を心掛ける	1	2	3	4
14. 家電など買替えの際は省エネ性能の高い製品を選ぶ	1	2	3	4
15. 自動車の買い替えの際は次世代自動車を検討する	1	2	3	4
16. プラごみ削減のため、プラスチックのスプーンやストローは使わないようにする	1	2	3	4
17. 生ごみは堆肥化して有効に利用する	1	2	3	4

2) 環境配慮型の機器の利用・導入状況について、該当する番号 1つに○ をつけてください。

1 : 既に導入している 2 : 今後導入したい 3 : 導入は考えていない 4 : わからない

環境配慮型の機器	選択肢	環境配慮型の機器	選択肢
1. 電気自動車・プラグインハイブリッド車	1 2 3 4	7. 断熱窓	1 2 3 4
2. ハイブリッド車	1 2 3 4	8. 遮熱塗装	1 2 3 4
3. 住宅用燃料電池コージェネレーションシステム	1 2 3 4	9. 高効率給湯設備（エコウィル、エコジョーズ、エコキュート等）	1 2 3 4
4. 住宅用太陽光発電システム	1 2 3 4	10. 雨水貯留施設（雨水タンク）	1 2 3 4
5. 蓄電システム	1 2 3 4	11. 雨水浸透施設（雨水浸透ます）	1 2 3 4
6. 太陽熱ソーラーシステム 太陽熱温水器	1 2 3 4	12. 生ごみ減量化処理機器	1 2 3 4

コラム★ご存知ですか。小金井市では環境に配慮した機器等の補助制度を実施しています。

● 住宅用新エネルギー機器等普及促進補助事業

太陽光発電、蓄電システムなどを設置する方に予算の範囲で設置費用の一部を補助しています。

対象機器等の概要		補助金額
燃料電池	ガスで発電を行い、同時にその排熱で給湯も行なう仕組みの機器	35,000 円
太陽光発電設備	太陽の光で発電する設備	1 キロワット当たり 30,000 円 (上限 100,000 円)
蓄電システム	電気を繰り返し充電して、家庭内の電気機器に電気を供給する仕組みの機器	40,000 円
太陽熱温水器	太陽の熱でお湯を沸かす機器	15,000 円
太陽熱ソーラーシステム	集熱器で集めた太陽熱を、不凍液等を循環させることで蓄熱槽内の水を温める機器	30,000 円
断熱窓	室内の熱の出入りを抑え、快適な室温を保つための窓	設置費用の 1/5 に相当する額 (1,000 円未満の端数は切り捨て。上限 100,000 円)
遮熱塗装	建物の屋根などに遮熱塗料を塗ることで、太陽光の熱を反射し、室内の温度上昇を抑える塗装	40,000 円

● 小金井市次世代自動車普及促進補助金

次世代自動車を購入した方に、予算の範囲内で購入費用の一部を補助しています。

対象機器の概要		補助金額
電気自動車(EV)	バッテリーの電気を使ってモーターを動かし、走行する車	10 万円
プラグインハイブリッド自動車(PHV)	ガソリンエンジンと電気モーターの両方を搭載し、外部から充電できるハイブリッド車	10 万円

※制度の詳細、申請状況を市ホームページで公表しています。申請期間内であっても、予算上限に達した時点で申請を締め切らせていただきますのでご注意ください。

3) その他、ご家庭で取り組まれている環境に関する取組などがあれば、お書きください。

例：エコラベル商品や国産木材製品の購入 等

3 環境保全活動への参加状況及び小金井市の取組の認知度について

1) 以下の環境保全活動に過去5年以内に参加したことはありますか？該当する番号 1つに○ をつけてください。

環 境 保 全 活 動	参加したことがある	参加したことはないが今後機会があれば参加したい	参加したことはないし今後も参加したいとは思わない
1. まちの清掃・美化活動	1	2	3
2. ごみ減量活動 (リサイクルショップの利用、食品ロス削減等)	1	2	3
3. まちなかの緑化活動 (植樹・花壇づくり・緑のカーテン等)	1	2	3
4. 地下水・湧水・河川の保全活動	1	2	3
5. 地域の自然(生き物、樹林等)の保全活動・観察会	1	2	3
6. 環境をテーマとした講座・講演会・勉強会・イベント	1	2	3
7. その他()	1	2	—

2) 以下は、小金井市が実施している環境・みどりに関する計画や取組、施設等の一部です。

これらについて該当する番号 1つに○ をつけてください。

(施策名、事業名、施設名等の概要は次ページの表を参照してください。)

施策名、事業名、施設名等			選 択 肢				
計 画 ・ 施 策	1. 小金井市環境基本計画	1	知っているし、 読んだこと がある	2	知っているが、 読んだこと はない	3	知らない
	2. 小金井市みどりの基本計画	1		2		3	
	3. 小金井市地球温暖化対策地域推進計画	1		2		3	
	4. 小金井市気候非常事態宣言	1		2		3	
取 組	5. こがねい環境フォーラム	1	知っているし、 参加したこと がある	2	知っているが、 参加したこと はない	3	知らない
	6. 野川環境フィールドワーク (旧クリーン野川作戦)	1		2		3	
	7. 省エネチャレンジ	1		2		3	
	8. 環境賞(小中学生による絵画コンテスト)	1		2		3	
	9. 環境講座 (子ども向けワークショップ・一般向け環境講座等)	1		2		3	
施 設	10. 環境楽習館(環境啓発施設)	1	知っているし、 利用(見学) したことがある	2	知っているが、 利用(見学) したことはない	3	知らない
補 助 事 業	11. 次世代自動車普及促進補助金	1	知っているし、 利用したことが ある	2	知っているが、 利用したことは ない	3	知らない
	12. 住宅用新エネルギー機器等 普及促進補助金	1		2		3	
	13. 保全緑地制度 (環境保全緑地・保存樹木・保存生け垣)	1		2		3	
	14. 生け垣造成奨励金交付制度	1		2		3	

計画名・事業名等		概 要
1	小金井市環境基本計画	市の環境保全等に関する施策を総合的かつ計画的に推進する計画
2	小金井市みどりの基本計画	市のみどりに関する目標及び取組みを定める総合的な計画
3	小金井市地球温暖化対策地域推進計画	温室効果ガス排出削減等のための施策等を推進する計画
4	小金井市気候非常事態宣言	2050年までにゼロカーボンシティを目指し、2020年1月に発出
5	こがねい環境フォーラム	市民団体等と協働して実施する環境啓発事業（令和7年度は11月14日(金曜)～16日(日曜)に小金井 宮地楽器ホールで実施予定）
6	野川環境フィールドワーク	野川の清掃活動や生物多様性を学ぶワークショップを実施する環境啓発事業(令和7年度は6月7日(土曜)に実施)
7	省エネチャレンジ	電気使用量、ガス使用量の削減に取り組む事業 削減率に応じてさくらポイントカードを付与(令和7年度募集終了)
8	環境賞	「環境に関すること」をテーマとして絵画作品を募集 「こがねい環境フォーラム」等で作品を展示予定
9	環境講座	小学生向けの「地下水を学ぶ」や一般・事業者向けの「省エネ診断講座」等を実施 年度により実施内容は異なる。
10	環境楽習館	市唯一の環境啓発拠点施設 環境の日イベントや四季に合わせた歳時記イベント等、様々な啓発事業を実施
11	次世代自動車普及促進補助金	電気自動車等購入費用の一部を補助(予算上限あり)
12	住宅用新エネルギー機器等普及促進補助金	太陽光発電システム、蓄電システム、蓄電池、断熱窓等の設置費用等の一部を補助(予算上限あり)
13	保全緑地制度	環境緑地:緑地に係る固定資産税等の税額の80%を減免 保存樹木:1本あたり2,000円の奨励金を交付 保存生け垣:1mあたり300円の奨励金(上限15,000円)を交付
14	生け垣造成奨励金交付制度	生け垣設置に要する経費の2分の1、1メートルあたり10,500円まで補助(1戸あたりの限度額210,000円)(予算上限あり)

3) 上記の 1)、2) で参加（利用）したことはないと回答した設問がある方に伺います。参加しなかった理由、参加したいと思わない理由は何ですか。該当する番号 1つに○をつけてください。

1. 時間的余裕がないから 2. 興味がないから 3. 知っていたら参加（利用）したかった
その他（ ）

4 環境に関する情報提供について

環境に関する情報（例：環境関連イベント等のお知らせ、環境調査データの公開等）を市から発信する場合、どの媒体が利用しやすいですか。該当する番号に○をつけてください。（○はいくつでも）

1. 市報こがねい 2. 市内掲示板 3. 公共施設等での掲示
4. 市ホームページ 5. X・LINE 等の SNS 6. メールマガジン
7. 講座・シンポジウム・イベント等（環境以外も含む） 8. チラシ
9. スマートフォンアプリ（マチイロ等） 10. その他（ ）

5 今後、重視すべき取組について

小金井市の環境に関する取組を進めていく上で、今後、特に重要だと思う取組を、以下のうちから5つまで選んで、右の欄に記載してください。

--	--	--	--	--

- | | |
|------------------------------|------------------------|
| 1. 地球温暖化の防止 | 2. 気候変動への適応 |
| 3. 環境学習の推進 | 4. ごみの適正な処理と 3R の推進 |
| 5. 小金井らしい景観（国分寺崖線等）の保全 | 6. 自然環境の保全・生物多様性の保全 |
| 7. まちのみどりの保全・創造（崖線と緑地の一体保全等） | 8. まちづくりにおける農の活用 |
| 9. 環境に関する市民団体等の活動の活性化 | 10. 環境・みどりに関する情報発信・共有 |
| 11. 市・市民・事業者の協働や広域的な連携の推進 | 12. 地下水・湧水・河川の現状把握及び保全 |
| 13. 人と自然とのふれあいの確保（遊歩道整備等） | 14. 騒音・振動対策 |
| 15. 飼い主のいない猫の対策（地域猫活動） | 16. 衛生害虫対策（ネズミ、スズメバチ等） |
| 17. 大気汚染、水質汚濁、土壌・地下水汚染対策 | 18. 外来種対策 |
| 19. 有害化学物質対策 | 20. その他（ ） |

6 小金井市の「みらい」の環境について

お住いの地域やその近くで、将来の小金井市に残したい環境や大切にしていきたい環境は何ですか。以下のうちから5つまで選んで、右の欄に記載してください。

--	--	--	--	--

1. 玉川上水や野川、仙川などの水辺空間
2. きれいな河川や湧水
3. 国分寺崖線と一体となったまとまったみどり
4. 散策路や公園などの憩いの空間
5. 名勝小金井（サクラ）など桜のある風景
6. 田畑のある風景や体験型市民農園などの体験場所
7. 野鳥、昆虫、水生生物などの豊かな生態系
8. まちなかに残る文化財や遺跡
9. 環境学習施設や環境学習の機会があること
10. ボランティア活動や地域コミュニティの活発さ
11. 地元の野菜や果樹等の地元消費
12. ごみが目につかない清潔なまちなみ
13. 3R の取組が推進されたまち
14. 空気がきれいなまち
15. 静かで落ち着いたまち
16. 太陽光発電の導入など地球環境に優しいまち
17. 環境に配慮した行動をとれる市民がいるまち
18. その他（ ）

7 環境保全に関する用語の認知度について

最近よく使用されている環境保全に関する用語について、該当する番号 1 つに○ をつけてください。

用 語	意味を含めて知っていた	言葉は知っていたが意味は知らなかった	言葉自体を知らなかった
1. カーボンニュートラル	1	2	3
2. 気候変動への「適応」	1	2	3
3. 1.5℃目標	1	2	3
4. フードドライブ	1	2	3
5. バイオプラスチック	1	2	3
6. 3R+Renewable (スリーアールプラスリニューアブル)	1	2	3
7. 生物多様性	1	2	3
8. ネイチャーポジティブ	1	2	3
9. 30by30 (サーティバイサーティ)	1	2	3

カーボンニュートラル：温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させ、全体として排出量をゼロにすること

気候変動への「適応」：猛暑による熱中症や集中豪雨による浸水被害の増加など、様々な気候変動の影響に備えること

1.5℃目標：世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて 1.5℃に抑える努力を追求すること

フードドライブ：家庭で余っている食品を回収拠点(スーパーや自治体など)やイベントに持ち寄り、地域の福祉施設や子ども食堂、生活困窮者支援団体などに寄付する活動のこと

バイオプラスチック：植物などの再生可能な有機資源を原料とするバイオマスプラスチックと微生物等の働きで最終的に二酸化炭素と水にまで分解する生分解性プラスチックの総称

3R+Renewable：3R(スリーアール)とは「Reduce」発生抑制、「Reuse」再使用、「Recycle」再資源化の頭文字を取った3つの行動のこと、Renewable(リニューアブル)とは「再生可能な」という意味で、行動としては、再生不可能な資源から再生可能な資源に替えること

生物多様性：生きものたちの豊かな個性とつながりのこと

ネイチャーポジティブ：自然が豊かになっていくプラスの状態、「**自然再興**」

30by30：2030年までに陸と海のそれぞれ30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする目標

コラム★私たちが目指すみどり

みどりの将来像 「みんなで育み、つなげるみどりの小金井」

小金井市にふさわしいみどりは、安全で快適な場所として、保全、活用され、多世代が触れ合い、地域で暮らす楽しみを見つけることができる空間です。



質の高いみどり

① 地域特性に応じた多様なみどり

市内の地域の様々な場所に応じた、樹林地、農園、公園、川や水辺などの多様なみどりが重層的にあります。

② 多様な機能を有するみどり

都市環境の改善、防災機能の向上、生物多様性の保全、景観形成など、以下のような多岐にわたる機能があります。

☞ 災害時の被害軽減 ☞ 健康活動の場 ☞ 子どもの遊び場 ☞ 地域の魅力向上 ☞ コミュニティの活性化
 ☞ 温室効果ガスの吸収 ☞ ヒートアイランド現象の緩和 ☞ 生物多様性の確保 ☞ 環境教育・自然とのふれあいの場

③ 生活に季節感や潤いをもたらすみどり

春の新緑、夏の緑陰、秋の紅葉、冬の裸木など、四季折々の変化に富んだ生活に季節感や潤いをもたらし、小金井市らしい美しく風格のあるみどりがあります。

④ 生態系やまちの景観への配慮が保たれているみどり

生態系やまちの景観に配慮し、市、事業者、市民がみんなで適切に保全、整備、管理、活用しています。



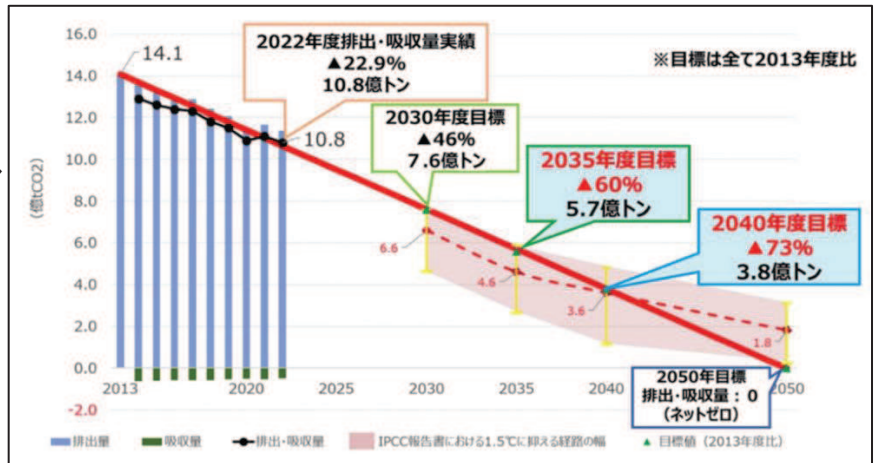
【みどりの満足度】 本市のみどりの施策などについて、感想をお聞かせください。該当する番号1つに○をつけてください。

みどりの施策 等	満足	満足や やや	どちらとも 言えない	やや 不満	不満
1. みどりに関する市からの情報提供	5	4	3	2	1
2. 農地の親しみやすさ（市民農園等）	5	4	3	2	1
3. みどりの豊かさ（樹林地、街路樹、公園等）	5	4	3	2	1
4. 公園の居心地のよさ	5	4	3	2	1
5. ボランティア活動の参加のしやすさ	5	4	3	2	1
6. イベント（滄浪泉園・公園花壇植え替え等）の参加のしやすさ	5	4	3	2	1
7. みどりの質 ★詳しくはページ上部コラムをご覧ください	5	4	3	2	1

9 気候変動対策について

- 1) 日本は、2030 年度において、温室効果ガス排出 46%削減 (2013 年度比) を目指し、2050 年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目標としています。あなたはこのことを知っていましたか。該当する番号 1 つに ○ をつけてください。

出典：地球温暖化対策推進本部



1. 知っていた

2. 知らなかった

コラム★近年の気候変動に対しての小金井市の取組 ～2050 年 CO₂排出実質ゼロを目指して～

近年、地球温暖化による異常気象が頻発しており、猛暑や記録的な集中豪雨など、甚大な被害が発生しており、このまま温暖化が進行すると私たちの市民生活に多大な影響がでることが予想されます。

市では、この「気候危機」を自らの問題として認識し、気候危機への対策を加速化させるため、温室効果ガスの削減を図る「緩和策」と気候変動による災害から市民を守る「適応策」に本気で取り組み、2050年までにCO₂排出実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指し、令和4年(2022年)1月に「小金井市気候非常事態宣言」を発出しています。

ゼロカーボンシティ実現のため、環境啓発事業である「こがねい環境フォーラム」、「野川環境フィールドワーク」の実施や住宅用新エネルギー機器等普及促進補助事業や次世代自動車普及促進補助事業など、様々な取組を展開しています。

- 2) 小金井市の現在の温室効果ガス排出削減目標は、2050 年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現の目標は国と同じであるものの、中期目標である 2030 年度においては温室効果ガス排出 26%削減 (2013 年度比) を目指すとしています。(国の目標は 46%削減) あなたは 2030 年度における小金井市の目標数値について、どのように考えますか。該当する番号 1 つに ○ をつけてください。

1. 国と同じ程度の目標を掲げるべき

2. 国以上の目標を掲げるべき

3. 国よりも低い目標でよい

- 3) 2) の回答の理由があれば、お書きください。

4) 気候変動の影響への「適応」について、小金井市内で既に影響が大きく、重点的に対策すべきものは何ですか。該当する番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------------|---------------------|
| 1. 熱ストレスによる疾患リスクの増加 | 2. 熱中症リスクの増加 |
| 3. デング熱などの感染症リスクの増加 | 4. 洪水や内水のリスクの増加 |
| 5. 強風被害の増加 | 6. ヒートアイランド現象の進行 |
| 7. 台風などの自然災害によるインフラ・ライフラインへの影響 | 8. 湧水や地下水位の変動 |
| 9. コメの品質や収量の低下 | 10. 果物の品質低下、栽培適地の変化 |
| 11. 野菜の品質低下や収穫時期変動 | 12. 河川の水温変化や水質悪化 |
| 13. 市内の動植物の分布・種類の変化 | 14. 河川の動植物の分布・種類の変化 |
| 15. 桜などの開花時期の変化 | 16. 病害虫・雑草等の分布拡大 |
| 17. 外来生物の分布拡大・定着 | 18. スポーツ等の屋外活動への影響 |
| 19. 特になし | 20. その他 |

(

)

コラム★気候変動対策「緩和」と「適応」

気候変動対策は「緩和と適応」の2本柱であり、どちらも重要であるとされています。

温室効果ガスの排出を減らし、気候変動の原因をできるだけ抑えることを「緩和」と言います。暮らしの中では、節電・省エネや、エネルギーの効率のよい機器を使うことで、エネルギーの使用を減らすことや、なるべく車ではなく自転車や徒歩で移動することなどです。

気候変動の影響に備えることを「適応」と言います。適応策をしっかりと取ることができれば、気候変動がある程度進んでも、その影響や被害を抑えることができます。

個人でできる適応としては、熱中症やデング熱の予防といった健康分野での適応策、豪雨災害に備えたハザードマップの確認といった自然災害分野での適応策などがあります。



出典：気候変動適応情報プラットフォーム

5) 東京都では、「燃費の良い住宅」の普及を進めています。あなたは、断熱性が高く、太陽光発電設備や蓄電池等の機器を設置した「燃費の良い住宅」のメリットを知っていますか。該当する番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 夏は涼しく、冬は暖かく、光熱費削減 | 2. 結露がなく掃除が楽になる |
| 3. ヒートショックの抑制 | 4. アレルギーの減少 |
| 5. 停電時にも電気の使用が可能 | 6. 知らなかった |

コラム★「知って役立つ！おうちの燃費と快適性」

東京都地球温暖化活動防止推進センター「クール・ネット東京」では、都民や事業者の皆さまの地球温暖化防止の取組や省エネ対策を支援するため、ホームページ等でさまざまな情報を提供しています。

東京都の実施する省エネ対策事業、補助金・助成金や、研修会・セミナー・イベントなどの情報や、地球温暖化対策についてわかりやすく学ぶことができます。

「知って役立つ！おうちの燃費と快適性」として、ハローキティのおうち、公式動画なども公表されていますので、燃費の良い住宅についてさらに知りたい方は、「クール・ネット東京」ホームページもご活用ください。

<https://www.tokyo-co2down.jp/eco-home/>

10 市の環境施策について

小金井市の環境施策について、あなたのご意見を聞かせてください。

クイズの答え
市の鳥:カワセミ
市の虫:カンタン



以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

記入漏れが無いかなど再度お確かめの上、この回答用紙を同封の返信用封筒に入れ、7月〇日(〇)までにご投函くださいますよう、お願い致します。

お問合せ先：小金井市 環境部 環境政策課 環境係
TEL：042-387-9817（直通） FAX：042-383-6577

令和7年5月23日時点	前回計画策定時
1 身近な環境の満足度	
1. 環境状況や施策に関する市からの情報提供 (みどりの満足度の項目に移動)	1. 環境の状況や施策に関する市からの情報提供
(みどりの満足度の項目に移動)	2. 農地や土との親しみやすさ
(みどりの満足度の項目に移動)	3. 緑の豊かさ(樹林地、街路樹、公園等)
(みどりの満足度の項目に移動)	4. 公共の広場や公園の利用しやすさ
2. 水のきれいさ(河川や湧水の水質、におい等)	5. 水のきれいさ(河川や湧水の水質、におい等)
3. 水辺との親しみやすさ(河川や湧水を身近に感じるか)	6. 水辺との親しみやすさ(河川や湧水を身近に感じるか)
4. 生き物(野鳥、昆虫、水生生物等)との親しみやすさ	7. 生き物(野鳥、昆虫、水生生物等)との親しみやすさ
5. 空気のきれいさ(車の排気ガス、星空の見え方等)	8. 空気のきれいさ(車の排気ガス、星空の見え方等)
6. まちの静けさ	9. まちの静けさ
7. 有害化学物質からの安全性(放射性物質等)	10. 有害化学物質からの安全性(放射性物質等)
8. まちの美しさ(景観、調和等)	11. まちなみの美しさ(景観、調和等)
9. まちの清潔さ・きれいさ(ごみの散乱、におい等)	12. まちの清潔さ・きれいさ(ごみの散乱、におい等)
10. 地球環境に配慮した取組み(CO ₂ 削減等)	13. 地球環境に配慮した取組み(CO ₂ 削減等)の進捗状況
11. 気候変動による豪雨等の災害からの安全性	14. 気候変動による豪雨等の災害からの安全性

- 前回計画策定時は、「5～6年前と比べて」の質問項目があったが、この項目については削除し、満足度のみの設問とする。
- 前回計画策定時の設問「2～4」はみどりの基本計画に関連する箇所となるため、【みどりの満足度】として独立して設問を設定(P. 9)

令和7年5月23日時点	前回計画策定時
2 日常生活における環境に関する取組状況	
1) 日頃行っている環境に関する取組について	
1. 庭やベランダなどで、木や草花を育て、除草剤の使用は控える	1. 庭やベランダなどで、緑や草花などを育てる
2. 地元の農産物を積極的に購入する	2. こまめに水道の蛇口をしめる
3. ポイ捨てをしないなど、マナーを守って生活する	3. 風呂の残り湯を洗濯などに使う
4. 生活騒音に気を付けるなど、日頃から隣近所への配慮を心掛ける	4. 洗剤は極力石けんを使い、合成洗剤を使う場合でも使用量は少なめにする
5. 洗剤は極力石けんを使い、合成洗剤を必要以上に使わないよう努める	5. 生ごみは水切りをしてから出す

令和7年5月23日時点	前回計画策定時
6. もの大切に使い、捨てる前にリユース、リサイクルを意識する	6. 電気をこまめに消す
7. 生ごみは水切りを行い、汚れがあるごみは洗浄してから排出する	7. コンセントを抜く等、待機電力を削減する
8. ものを捨てる時は、水銀などの有害ごみを混入させないなど、分別を徹底する	8. 冷暖房の温度設定は控えめにする
9. 移動は徒歩、自転車、公共交通機関を優先する	9. 自動車かわりに徒歩・自転車・公共交通を利用する
10. 打ち水やベランダで緑のカーテンを設置等、涼しくする工夫をする	10. エコドライブに取り組む
11. 防災マップで避難場所を把握し、非常食などを備蓄する	11. 発生したごみは持ち帰る
12. 市HPや、市が発行する環境報告書などで環境情報を調べ、“小金井の今”を知る	12. 使い捨てでない物を選ぶ
13. リサイクル推進協力店や食品ロス削減推進協力店で購入を心掛ける	13. 買い物には、マイバッグを持っていく
14. 家電など買替えの際は省エネ性能の高い製品を選ぶ	14. 省エネ性能の高い製品を選ぶ
15. 自動車の買い替えの際は次世代自動車を検討する	15. 使えるものは修理して使う
16. プラごみ削減のため、プラスチックのスプーンやストローは使わないようにする	16. ごみは決められた分別区分に従って出す
17. 生ごみは堆肥化して有効に利用する	17. 生ごみは堆肥化して有効に利用する

- 小金井市環境行動指針の「市民チェックシート」の項目を基本とした設問（設問1～13）とする。（『チャレンジ』に記載の21～25は以降の設問に関連するため、ここでは設問として設定しない。）
- 16、17は環境行動指針のチェックシートに記載はないが、追加及び既存設問として設定する。

令和7年5月23日時点	前回計画策定時
2) 環境配慮型機器の利用・導入状況について	
1. 電気自動車・プラグインハイブリッド車	1. 電気自動車やハイブリッド車
2. ハイブリッド車	
3. 住宅用燃料電池コージェネレーションシステム	2. 住宅用燃料電池コージェネレーションシステム
4. 住宅用太陽光発電システム	3. 住宅用太陽光発電システム
5. 蓄電システム	4. 再生可能エネルギー由来の電気を使用した蓄電システム
6. 太陽熱ソーラーシステム・太陽熱温水器	5. 太陽熱温水器
	6. 太陽熱ソーラーシステム

令和7年5月23日時点	前回計画策定時
7. 断熱窓	
8. 遮熱塗装	
9. 高効率給湯設備（エコウィル、エコジョーズ、エコキュート等）	7. 高効率給湯設備（エコウィル、エコジョーズ、エコキュート等）
10. 雨水貯留施設（雨水タンク）	8. 雨水貯留施設（雨水タンク）
11. 雨水浸透施設 （雨水浸透ます）	9. 雨水浸透施設 （雨水浸透ます）
12. 生ごみ減量化処理機器	10. 生ごみ減量化処理機器

- 前回計画策定時に「電気自動車やハイブリッド車」としていた項目を「電気自動車・プラグインハイブリッド車」と「ハイブリッド車」の2つに分ける。
- 「断熱窓」、「遮熱塗装」の2項目を追加

3 環境活動への参加状況及び小金井市の取組の認知度

1) 環境関連活動参加

令和7年5月23日時点	前回計画策定時
1. まちの清掃・美化活動	1. まちの清掃・美化活動
2. ごみ減量活動（リサイクルショップの利用、食品ロス削減等）	2. ごみ減量活動（リサイクルショップの利用、食品ロス削減等）
3. まちなかの緑化活動（植樹・花壇づくり・緑のカーテン等）	3. まちなかの緑化活動（植樹・花壇づくり・緑のカーテン等）
4. 地下水・湧水・河川の保全活動	4. 地下水・湧水・河川の保全活動
5. 地域の自然（生き物、樹林等）の保全活動・ 観察会	5. 地域の自然（生き物、樹林等）の保全活動
6. 環境をテーマとした講座・講演会・勉強会・イベント	6. 環境をテーマとした講座・講演会・勉強会・イベント
7. その他（ ）	7. その他（ ）

- 前回計画策定時と同様の設問内容とする。

令和7年5月23日時点	前回計画策定時
2) 取組、施設の認知度	
1. 小金井市環境基本計画	小金井市環境基本計画（アンケート冒頭で設定）
2. 小金井市みどりの基本計画	—
3. 小金井市地球温暖化対策地域推進計画	—

令和7年5月23日時点	前回計画策定時
4. 小金井市気候非常事態宣言	—
5. こがねい環境フォーラム	1. こがねい環境フォーラム
6. 野川環境フィールドワーク（旧クリーン野川作戦）	2. クリーン野川作戦
7. 省エネチャレンジ	—
—	3. 環境施設見学会
—	4. エコドライブ教習会
（10.に移動）	5. 環境楽習館（環境に配慮した住宅型の研修施設）
8. 環境賞（小中学生による絵画コンテスト）	6. 小金井市環境賞
9. 環境講座（食育講座、子ども向け・一般向け環境講座等）	7. 環境講座（食育講座、子ども向け環境講座、一般向け環境講座等）
10. 環境楽習館（環境に配慮した研修施設）	—
11. 次世代自動車普及促進補助金	—
12. 住宅用新エネルギー機器等普及促進補助金	—
13. 保全緑地制度（環境保全緑地・保存樹木・保存生け垣）	—
14. 生け垣造成奨励金交付制度	—

- 各計画及び気候非常事態宣言、補助金（次世代自動車、住宅用新エネ等）の認知度調査を追加
- 終了し、現在実施していない事業（施設見学会、エコドライブ講習会）の削除

令和7年5月23日時点	前回計画策定時
4 環境に関する情報提供について	
1. 市報こがねい	1. 市報こがねい
2. 市内掲示板	2. 市内掲示板
3. 公共施設等での掲示	3. 公共施設等での掲示
4. 市ホームページ	4. 市ホームページ
5. X・LINE等のSNS	5. メールマガジン
6. メールマガジン	6. ツイッター・フェイスブック等
7. 講座・シンポジウム・イベント等（環境以外も含む）	7. 講座・シンポジウム・イベント等（環境以外も含む）
8. チラシ	8. チラシ
9. スマートフォンアプリ（マチイロ等）	9. スマートフォンアプリ（マチイロ等）
10. その他	10. その他

令和7年5月23日時点	前回計画策定時
5 今後、重視すべき取組	
1. 地球温暖化の防止	1. 環境学習の推進
2. 気候変動への適応	2. 市・市民・事業者の協働や広域的な連携の推進
3. 環境学習の推進	3. 地域コミュニティの活性化
4. ごみの適正な処理と3Rの推進	4. 収集・整備した環境情報の積極的な活用
5. 小金井らしい景観（国分寺崖線等）の保全	5. まちの緑の保全・創造（崖線と緑地の一体保全等）
6. 自然環境の保全・生物多様性の保全	6. まちづくりにおける農の活用
7. まちの緑の保全・創造（崖線と緑地の一体保全等）	7. 地下水・湧水・河川の現状把握及び保全
8. まちづくりにおける農の活用	8. 水の循環的利用
9. 環境に関する市民団体等の活動の活性化	9. 自然環境の保全・生物多様性の保全
10. 環境・みどりに関する情報発信・共有	10. 外来種対策
11. 市・市民・事業者の協働や広域的な連携の推進	11. 人と自然とのふれあいの確保（遊歩道整備等）
12. 地下水・湧水・河川の現状把握及び保全	12. 大気汚染、水質汚濁、土壌・地下水汚染対策
13. 人と自然とのふれあいの確保（遊歩道整備等）	13. 騒音・振動対策
14. 騒音・振動対策	14. 衛生害虫対策（ネズミ、スズメバチ等）
15. 飼い主のいない猫の対策（地域猫活動）	15. 飼い主のいない猫の対策（地域猫活動）
16. 衛生害虫対策（ネズミ、スズメバチ等）	16. 有害化学物質対策
17. 大気汚染、水質汚濁、土壌・地下水汚染対策	17. ヒートアイランド対策
18. 外来種対策	18. 小金井らしい景観（国分寺崖線等）の保全
19. 有害化学物質対策	19. 文化遺産の保全
20. その他	20. 資源循環の推進
	21. ごみの適正な処理
	22. 地球温暖化の防止
	23. オゾン層の保護
	24. 気候変動への適応
	25. その他

- 設問数を精査
- 設問の順番を入替え

令和7年5月23日時点	前回計画策定時
6 小金井市の「みらい」の環境について	
1. 玉川上水や野川、仙川などの水辺空間	1. 玉川上水や野川、仙川などの水辺空間
2. きれいな河川や湧水	2. きれいな河川や湧水
3. 国分寺崖線と一体となったまとまりのある緑	3. 国分寺崖線と一体となったまとまりのある緑
4. 散策路や公園などの憩いの空間	4. 散策路や公園などの憩いの空間
5. 名勝小金井（サクラ）など桜のある風景	5. 名勝小金井（サクラ）など桜のある風景
6. 田畑のある風景や体験型市民農園などの体験場所	6. 田畑のある風景や体験型市民農園などの体験場所
7. 野鳥、昆虫、水生生物などの豊かな生態系	7. 野鳥、昆虫、水生生物などの豊かな生態系
8. まちなかに残る文化財や遺跡	8. まちなかに残る文化財や遺跡
9. 環境学習施設や環境学習の機会があること	9. 環境学習施設や環境学習の機会があること
10. ボランティア活動や地域コミュニティの活発さ	10. ボランティア活動や地域コミュニティの活発さ
11. 地元の野菜や果樹等の地元消費	11. 地元の野菜や果樹等の地元消費
12. ごみが目につかない清潔な街並み	12. ごみが目につかない清潔な街並み
13. 3Rの取組が推進されたまち（	13. 3Rの取組が推進されたまち（
14. 空気がきれいなまち	14. 空気がきれいなまち
15. 静かで落ち着いたまち	15. 静かで落ち着いたまち
16. 太陽光発電の導入など地球環境に優しいまち	16. 太陽光発電の導入など地球環境に優しいまち
17. 環境に配慮した行動をとれる市民がいるまち	17. 環境に配慮した行動をとれる市民がいるまち
18. その他	18. その他

● 前回計画策定時の項目を踏襲する。

令和7年5月23日時点	前回計画策定時
7 環境保全に関する用語の認知度について（新規設問）	
1. カーボンニュートラル	—
2. 気候変動への「適応」	—
3. 1.5℃目標	—
4. フードドライブ	—
5. バイオプラスチック	—
6. 3R+Renewable(スリーアールプラスリニューアブル)	—

令和 7 年 5 月 2 3 日時点	前回計画策定時
7. 生物多様性	—
8. ネイチャーポジティブ	—
9. 30by30（サーティバイサーティ）	—

8 小金井市のみどりについて

9 気候変動対策について（新規設問）

別紙アンケート調査のとおり新規項目として設問追加

(仮称) 小金井市気候市民会議の企画概要

○(仮称) 小金井市気候市民会議の目的

「小金井市気候非常事態宣言」では、2050年までのゼロカーボンシティの実現を目指している。その目標達成に向けて、市民が自分ごととして取り組むことができる地球温暖化対策に係る行動を検討し、実行するための行動計画等を提言としてとりまとめることなどを目的に(仮称)気候市民会議を実施。

○参加人数

市民20～30人程度を想定

○実施概要

会議形式を3回、フィールドワークを2箇所実施

➤ 第1回気候市民会議

テーマ：気候変動について理解を深めよう

アウトプット：各分野について市民・事業者・行政の課題

グループ分け：3分野×2グループ

- ① 再エネ、省エネ
- ② まちづくり、ごみ、交通
- ③ 環境教育、参加協働

➤ フィールドワーク

訪問先(案)

1. メタウォーターサステナブルパークこがねい
2. 環境楽習館・滄浪泉園

➤ 第2回気候市民会議

テーマ：暮らしの脱炭素について考えよう

アウトプット：課題解決に向けた取組(提言案)

グループ分け：第1回の結果をとりまとめ、5～6の分野に分ける

※他グループへの意見がある場合は、別途紙面で収集

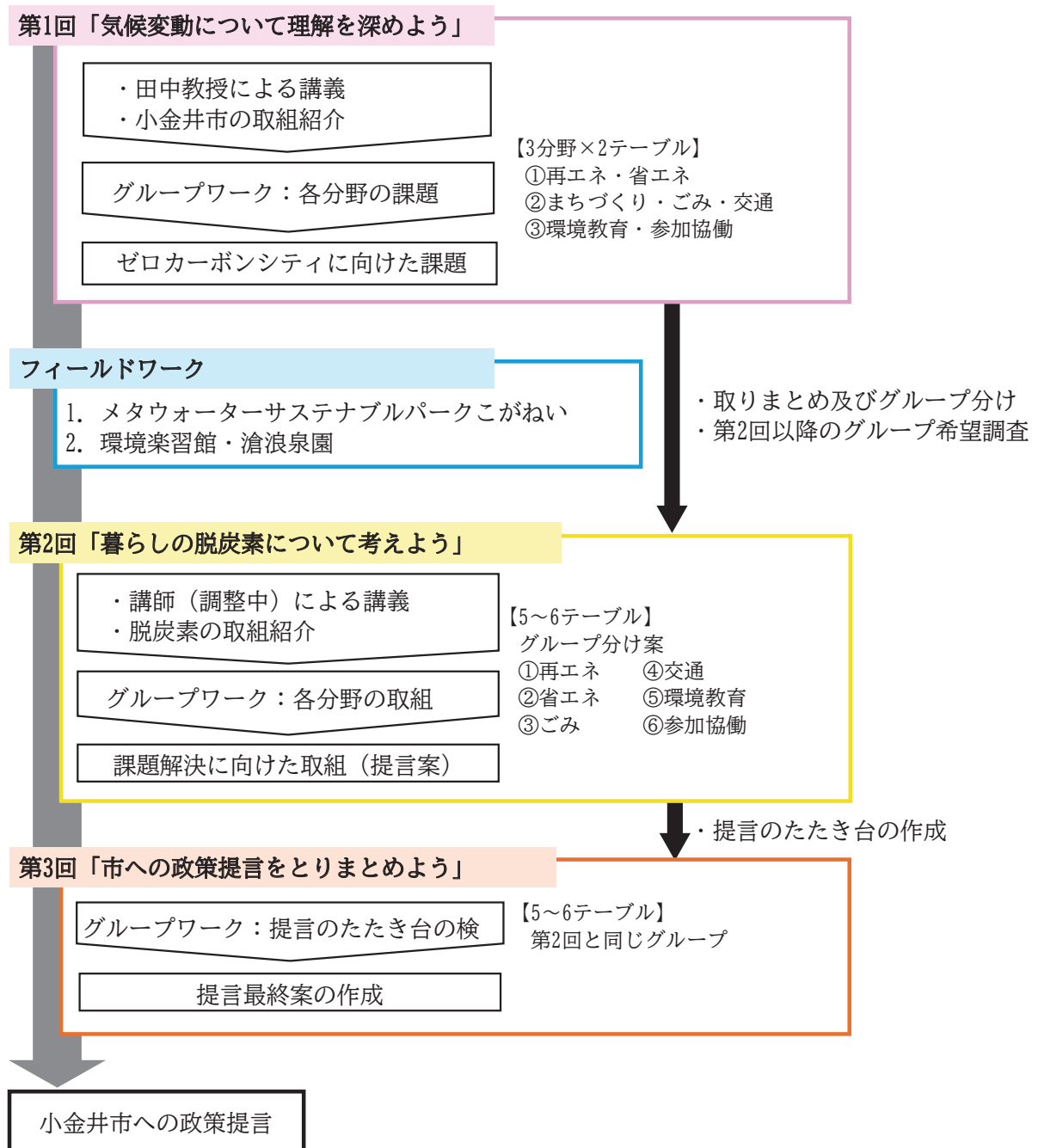
➤ 第3回気候市民会議

テーマ：小金井市への政策提言をとりまとめよう

アウトプット：提言最終案の作成

グループ分け：第2回のグループと同様

○全体のフロー図



以上

第1回（仮称）小金井市気候市民会議 企画案

1. 第1回気候市民会議の目的

テーマ：気候変動について理解を深めよう

気候変動の問題や小金井市の現状について情報提供を行い、気候変動について理解を深めていただきます。

市民の皆さんから小金井市の課題について意見交換をしていただきます。

2. 開催日時・スケジュール案

令和7年7月6日（日）午後開催予定

1. 白井市長による開会宣言【5分】

2. 講師による講義【30分】

講師：法政大学名誉教授 田中 充 氏

講義：気候変動問題の現状等

3. 情報提供【20分】

情報提供：小金井市の現状、小金井市気候非常事態宣言等

4. 自己紹介、グループワーク【15分×4】

トークテーマ：小金井市の課題

5. 全体の意見総括【5分×6】

6. フィールドワーク及び、第2回気候市民会議の説明【15分】

3. 人数構成

・参加者：市民20～30名程度（1テーブル5～6名程度で配置予定）

・講師：1名

・委託事業者：5～8名（司会：1名、ファシリテーター：4～6名、撮影者：1名）

・市職員：3～4名

4. グループワーク

・3分野の課題について、ワールドカフェ方式で意見交換を実施

・各分野について2グループ、計6グループ

※ワールドカフェ方式とは、グループのメンバーを入れ替えることで、多くの参加者と意見交換をすること。

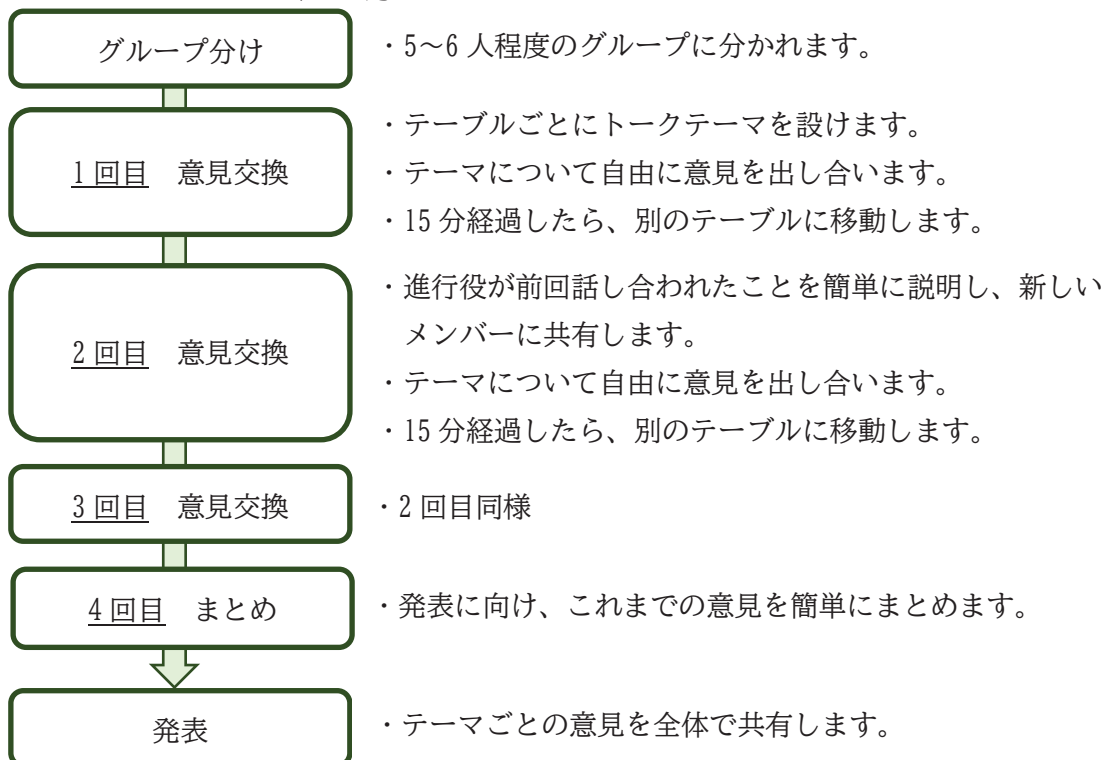
① 再エネ、省エネ

② まちづくり、ごみ、交通

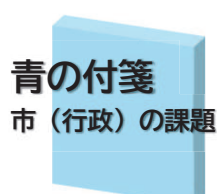
③ 環境教育、参加協働（各分野2グループずつ）



5. グループワークの進め方



●付箋の使い方



6. フィールドワークの案内

第 1 回の内容を踏まえて、地球温暖化対策に係る身近な市の施策等へ触れていただく機会として、参加希望者で施設見学を実施します。

参加希望者についてはアンケート（紙面及び、二次元コード）の実施を予定しています。

➤ フィールドワーク先

1. メタウォーターサステナブルパークこがねい
2. 環境楽習館・滄浪泉園

7. 市民会議終了後

- ・ 第 1 回気候市民会議の取りまとめの作成
- ・ フィールドワークの参加希望調査
- ・ 第 2 回以降のグループの希望調査

以上

第2回（仮称）小金井市気候市民会議 企画案

1. 第2回気候市民会議の目的

テーマ：くらしの脱炭素について考えよう

第1回とフィールドワークの結果を踏まえて、市民の皆さんから課題解決に向けた取組について意見交換をしていただき、提言案の抽出・整理をしていただきます。

2. 開催日時・スケジュール案

令和7年8月2日（土）午後開催予定

1. 課題のまとめ、フィールドワークの振り返り【15分】
2. 講師による講義【30分】
講師：（調整中）
講義：家庭部門の脱炭素
3. 自己紹介、グループワーク【60分】
トークテーマ：課題解決に向けた取組
4. 全体の意見総括【5分×6】
5. 第3回気候市民会議の説明【10分】

3. 人数構成

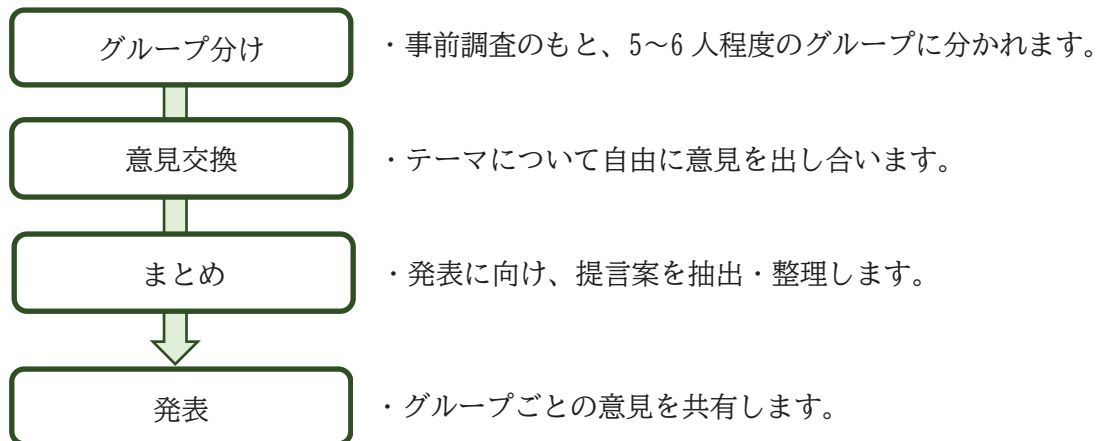
- ・参加者：市民20～30名程度（1テーブル5～6名程度で配置予定）
- ・講師：1名
- ・委託事業者：5～8名（司会：1名、ファシリテーター：4～6名、撮影者：1名）
- ・市職員：3～4名

4. グループワーク

- ・第1回の結果とフィールドワークを踏まえて、5～6分野にグループ分け
- ・グループ分け案
 - ① 再エネ
 - ② 省エネ
 - ③ ごみ
 - ④ 交通
 - ⑤ 環境教育
 - ⑥ 参加協働

※他グループへの意見がある場合は、紙面に記入し提出

5. グループワークの進め方



●付箋の使い方



6. 市民会議終了後

- ・ 第2回気候市民会議の取りまとめの作成
- ・ 第2回までの内容を踏まえた提言のたたき台の作成

第3回（仮称）小金井市気候市民会議 企画案

1. 第3回気候市民会議の目的

テーマ：市への政策提言をとりまとめよう

第2回までの結果を踏まえた提言のたたき台を提示し、市民の皆さんには提言のたたき台をもとに議論・検討し、各分野の提言最終案を作成していただきます。

2. 開催日時・スケジュール案

令和7年9月6日（土）午後開催予定

1. 第2回の振り返り【10分】
2. 情報提供（提言のたたき台の提示）【30分】
情報提供：第2回までを踏まえた提言のたたき台の提示
3. ブラッシュアップ【45分】
トークテーマ：各分野の提言最終案の作成
4. 全体で共有【7分×6】

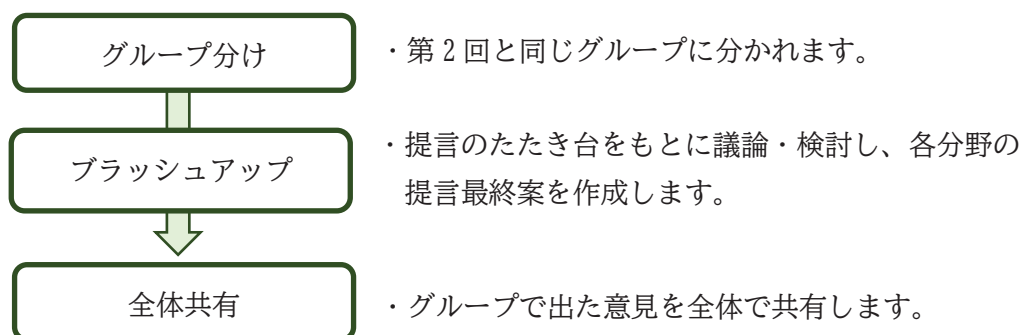
3. 人数構成

- ・参加者：市民20～30名程度（1テーブル5～6名程度で配置予定）
- ・委託事業者：5～8名（司会：1名、ファシリテーター：4～6名、撮影者：1名）
- ・市職員：3～4名

4. グループワーク

- ・第2回と同じグループ
- ※他グループへの意見がある場合は、発表の後、発言

5. グループワークの進め方



6. 市民会議終了後

- ・第3回気候市民会議の取りまとめの作成
- ・市への提言最終案のまとめ
- ・最終案の提言を参加者に共有し、確認していただいたものを最終版とする

以上

令和7年度環境政策課環境系の事業計画について

単位:円

事業名	令和7年度当初予算	令和6年度当初予算	令和6年度対比
こん虫等駆除及び雑草除去に要する経費	1,494,000	1,426,000	68,000
<事業概要> 害虫等の駆除相談や空き家、あき地の苦情対応により、市民の快適な生活環境を確保する。 なお、雑草等の除去に関する相談については、原則的には所有者等が民間事業者に依頼してもらえるよう案内をしているが、「小金井市あき地の管理の適正化に関する条例」第8条に基づき、あき地の所有者等が自ら雑草等を除去することができないあき地については、市が委託を受けて外部委託で除去作業を行っている。			
<経費内訳>			
【需用費】	128,000	134,000	△ 6,000
消耗品費	124,000	130,000	△ 6,000
医薬材料費	4,000	4,000	0
【役務費】	4,000	5,000	△ 1,000
郵便料	4,000	5,000	△ 1,000
【委託料】	1,303,000	1,287,000	16,000
あき地除草委託料	129,000	120,000	9,000
アライグマ・ハクビシン防除委託料	1,166,000	1,167,000	△ 1,000
廃棄物処理委託料	8,000	0	8,000
【備品購入費】	59,000	0	59,000
維持管理機器一式	59,000	0	59,000
飼い主のいない猫対策に要する経費	631,000	639,000	△ 8,000
<事業概要> 飼い主のいない猫による糞尿被害や鳴き声による騒音問題等に起因する市民からの苦情が近年急増していることに伴い、「小金井市飼い主のいない猫対策要綱」、「飼い主のいない猫の地域猫活動ガイドライン」を制定し、平成28年度より開始した事業。地域住民・ボランティア・行政の三者協働で飼い主のいない猫を適正に管理し、飼い主のいない猫の繁殖を抑え、市民の生活環境に対する被害及び迷惑を未然に防止し、公衆衛生の向上を図り、人と猫との調和のとれた共生社会の推進に資することを目的としている。			
<経費内訳>			
【報償費】	102,000	102,000	0
飼い主のいない猫対策協議会委員謝礼	102,000	102,000	0
【需用費】	77,000	86,000	△ 9,000
消耗品費	72,000	75,000	△ 3,000
印刷製本費	5,000	11,000	△ 6,000
【役務費】	2,000	1,000	1,000
郵便料	2,000	1,000	1,000

【負担金補助及び交付金】	450,000	450,000	0
飼い主のいない猫の不妊去勢手術費補助金	450,000	450,000	0
事業名	令和7年度当初予算	令和6年度当初予算	令和6年度対比
環境調査・測定に要する経費	4,353,000	4,066,000	287,000
＜事業概要＞ 大気、騒音、振動、水質等を測定して環境の現状を調査し、データを收集整理することにより、環境保全対策や将来予測の基礎資料とする。			
＜経費内訳＞			
【報酬】	163,000	156,000	7,000
環境調査・測定業務会計年度任用職員報酬(1人)	163,000	156,000	7,000
【報償費】	1,000	1,000	0
苦情用調査時電源提供者謝礼	1,000	1,000	0
【需用費】	53,000	53,000	0
消耗品費	9,000	9,000	0
緊急修繕料(備品)	44,000	44,000	0
【委託料】	3,953,000	3,641,000	312,000
大気質調査委託料	517,000	396,000	121,000
事業所等公害発生時調査委託料	147,000	147,000	0
ダイオキシン類測定委託料	770,000	495,000	275,000
自動車騒音常時監視調査委託料	957,000	957,000	0
水質監視測定及び湧水・地下水位調査等委託料	1,496,000	1,584,000	△ 88,000
騒音計点検委託料	0	62,000	△ 62,000
騒音レベル計検定委託料	66,000	0	66,000
【使用料及び賃借料】	183,000	215,000	△ 32,000
自動車騒音常時監視用パーソナルコンピュータ借上料(令和元年度導入分)	0	48,000	△ 48,000
自動車騒音常時監視用パーソナルコンピュータ借上料(令和6年度導入分)	70,000	54,000	16,000
デジタルマップ使用料	113,000	113,000	0
光化学スモッグ緊急対策に要する経費	39,000	39,000	0
＜事業概要＞ 光化学スモッグにより被害を受けた市民の方に対し、緊急に医師の派遣を行い、医療機関の処置を受けた市民の方に対してお見舞金を支給する。			
＜経費内訳＞			
【委託料】	37,000	37,000	0
光化学スモッグ被害者検診委託料	37,000	37,000	0
【負担金補助及び交付金】	2,000	2,000	0
光化学スモッグ被害者見舞金	2,000	2,000	0
事業名	令和7年度当初予算	令和6年度当初予算	令和6年度対比

環境対策事務に要する経費	45,160,000	28,309,000	16,851,000
<事業概要> 環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進していく。			
<経費内訳>			
【報酬】	4,962,000	4,557,000	405,000
環境審議会委員報酬(10人)	606,000	404,000	202,000
地下水保全会議委員報酬(5人)	153,000	153,000	0
環境対策業務会計年度任用職員報酬(2人)	4,203,000	4,000,000	203,000
【職員手当等】	1,486,000	1,541,000	△ 55,000
会計年度任用職員(月割)期末手当	766,000	795,000	△ 29,000
会計年度任用職員(月割)勤勉手当	720,000	746,000	△ 26,000
【報償費】	180,000	0	180,000
(仮称)気候市民会議参加者謝礼	180,000	0	180,000
【需用費】	288,000	221,000	67,000
消耗品費	66,000	60,000	6,000
印刷製本費	87,000	86,000	1,000
光熱水費(電気料金)	8,000	9,000	△ 1,000
緊急修繕料(車検等)	127,000	66,000	61,000
【役務費】	179,000	45,000	134,000
郵便料	179,000	45,000	134,000
【委託料】	15,944,000	175,000	15,769,000
環境審議会会議録作成委託料	150,000	100,000	50,000
地下水保全会議会議録作成委託料	75,000	75,000	0
環境基本計画市民意向調査等委託料	5,760,000	0	5,760,000
地球温暖化対策地域推進計画策定支援委託料	4,694,000	0	4,694,000
(仮称)気候市民会議運営支援委託料	5,265,000	0	5,265,000
【使用料及び賃借料】	0	94,000	△ 94,000
電子複写機使用料	0	94,000	△ 94,000
【負担金補助及び交付金】	22,121,000	21,676,000	445,000
環境市民会議補助金	50,000	50,000	0
雨水貯留施設設置費補助金	300,000	300,000	0
住宅用新エネルギー機器等普及促進補助金	19,725,000	16,380,000	3,345,000
次世代自動車普及促進補助事業	2,000,000	4,900,000	△ 2,900,000
東京都市公害事務連絡協議会負担金	1,000	1,000	0
グリーン購入ネットワーク参加負担金	15,000	15,000	0

野川流域環境保全協議会負担金	30,000	30,000	0
事業名	令和7年度当初予算	令和6年度当初予算	令和6年度対比
環境啓発に要する経費	413,000	4,342,000	△ 3,929,000
<事業概要> イベントや講座等の開催を通じて市民の方に環境啓発を行い、小金井市環境基本計画及び小金井市地球温暖化対策地域推進計画を推進していく。			
<経費内訳>			
【報償費】	338,000	100,000	238,000
水資源関連講座講師謝礼	48,000	48,000	0
環境賞記念品	20,000	20,000	0
省エネチャレンジ達成記念品	270,000	80,000	190,000
【需用費】	5,000	5,000	0
消耗品費	5,000	5,000	0
【役務費】	70,000	41,000	29,000
郵便料	70,000	41,000	
【委託料】	0	4,201,000	△ 4,201,000
環境啓発事業委託料		1,469,000	△ 1,469,000
環境教育事業支援委託料	0	0	0
子ども環境ワークショップ支援委託料		1,965,000	△ 1,965,000
森林教育事業支援委託料		767,000	△ 767,000
環境配慮住宅型研修施設の維持管理に要する経費	5,335,000	5,380,000	△ 45,000
<事業概要> 環境配慮住宅型研修施設の施設維持管理や環境学習講座の運営等を委託し、地球温暖化防止のための活動を広く普及啓発していく。			
<経費内訳>			
【需用費】	0	0	0
消耗品費	0	0	0
印刷製本費	0	0	0
光熱水費(電気料金)	0	0	0
光熱水費(都市ガス料金)	0	0	0
光熱水費(上下水道料金)	0	0	0
緊急修繕料(備品)	0	0	0
緊急修繕料(建物)	0	0	0
【役務費】	0	0	0
電話料	0	0	0
回線使用料	0	0	0
【委託料】	5,335,000	5,335,000	0
環境配慮住宅型研修施設管理・運営支援委託料	5,335,000	5,335,000	0

環境配慮設備保守点検委託料	0	0	0
廃棄物処理委託料	0	0	0
【使用料及び賃借料】	0	45,000	△ 45,000
パーソナルコンピューター借上料		45,000	△ 45,000
【備品購入費】	0	0	0
冷暖房機	0	0	0
環境政策課 環境係 計	57,425,000	44,201,000	13,224,000